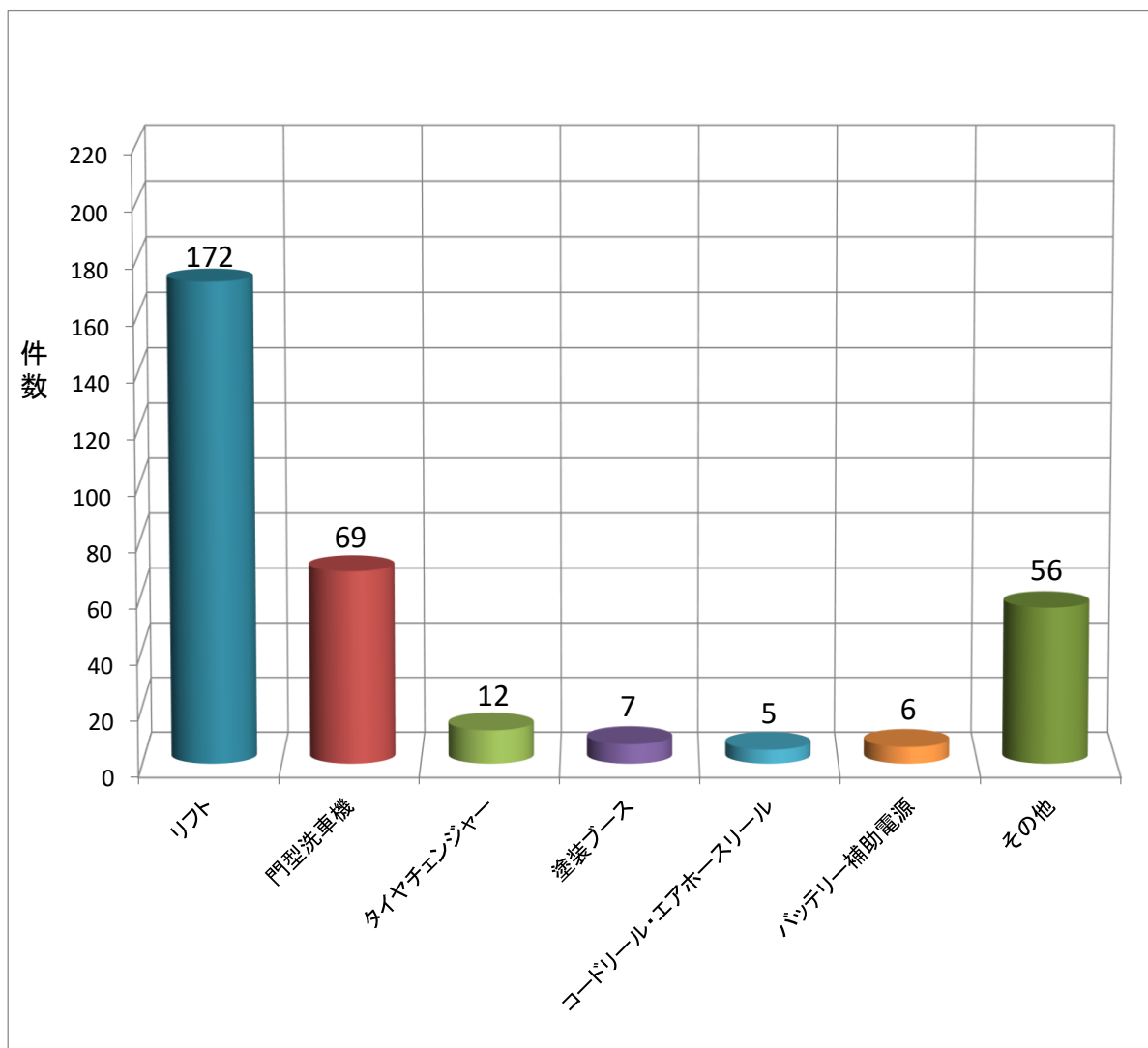


過去10年間(平成25年～令和4年)の事故統計

1. 整備機器別の事故件数

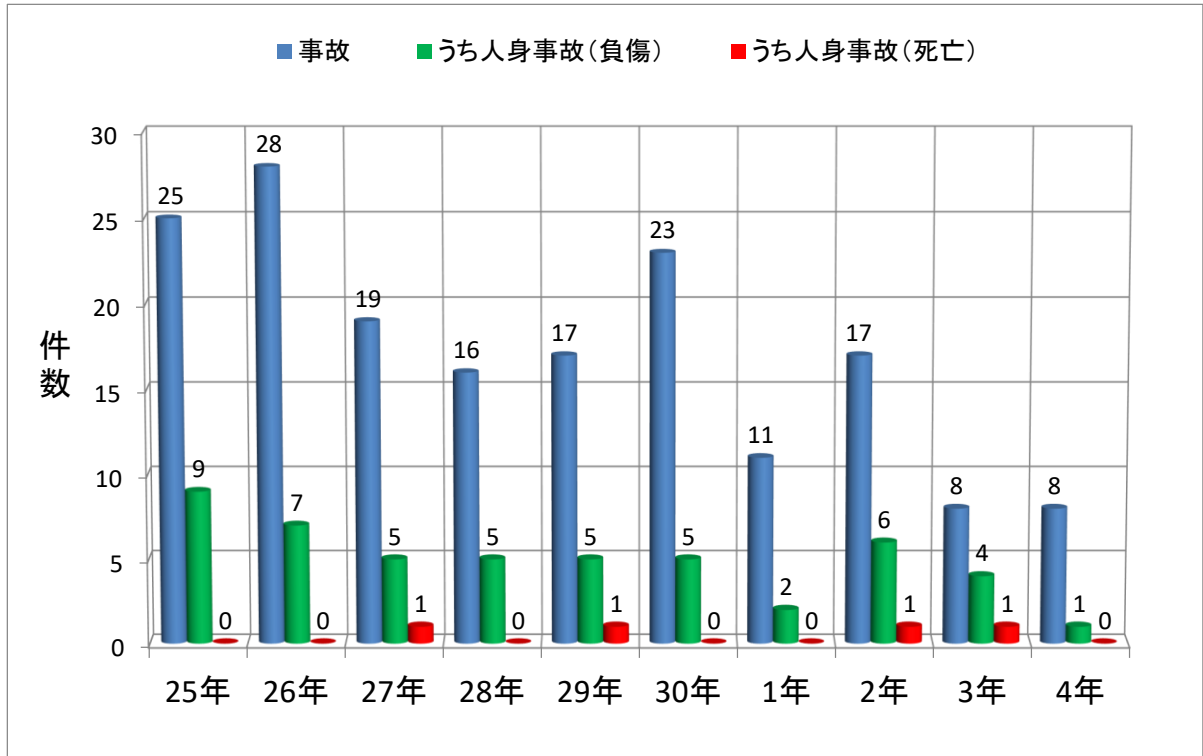


※その他の内訳

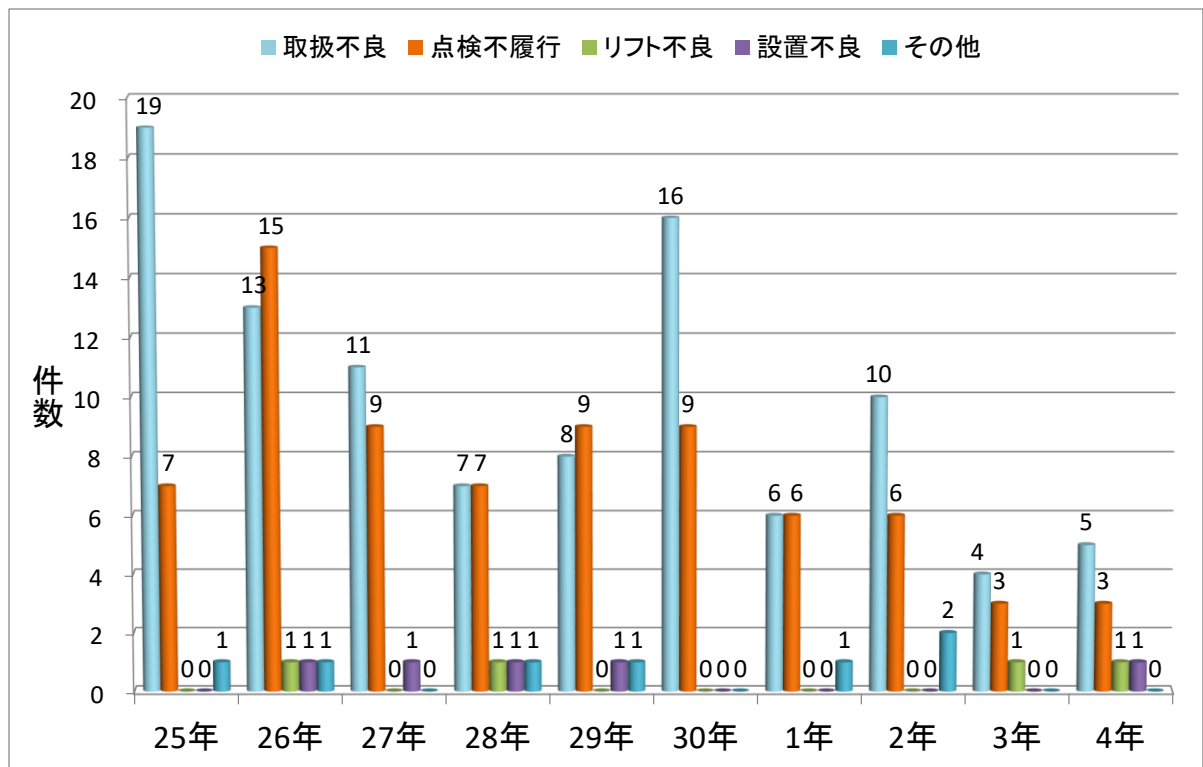
事故件数が4件の機器
温水洗車機、部品洗浄機、ブレーキ・テスト
事故件数が3件の機器
オイルドレン、集塵機、スキャンツール
事故件数が2件の機器
油圧プレス、赤外線乾燥機、吊り下げ式乾燥ヒーター、エアーコンプレッサー、 卓上グラインダー、マルチテスト、ヘッドライトテスト、オイルチェンジャー
事故件数が1件の機器
油圧ジャッキ、溶接機、廃油ボイラー、オイルガン、バキュームクリーナー、 バッテリー用充電器、タイヤ安全囲い、LED式投光器、エンジンクレーン、 工具キャビネット、排気ホースリール、リフト用リモコンリール、ピットジャッキ、 ブレーキオイルチェンジャー、ペアリング給脂機、フロンガス充填装置、 エアーインフレーター、エアーインパクトレンチ、オイル用ポンプ

2. リフトの事故

2-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



2-2. 事故原因の推移



※1件の事故に複数の原因がある場合は、重複して計上しています。

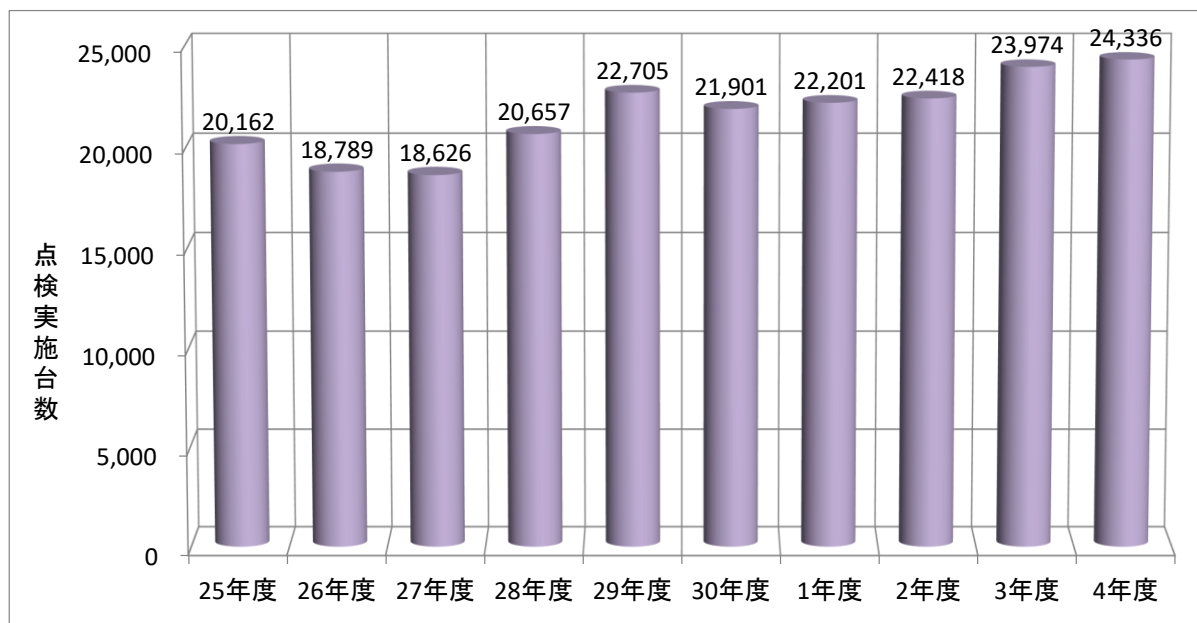
2-3. リフト事故の傾向

リフトの事故は、他の整備機器の事故と比較して件数が多く発生しており、死亡事故や腕の切断など大きな事故に繋がるケースが見られます。なお、事故原因の約9割は、取扱不良と点検不履行によるものです。

2-4. リフトの事故を防止するために

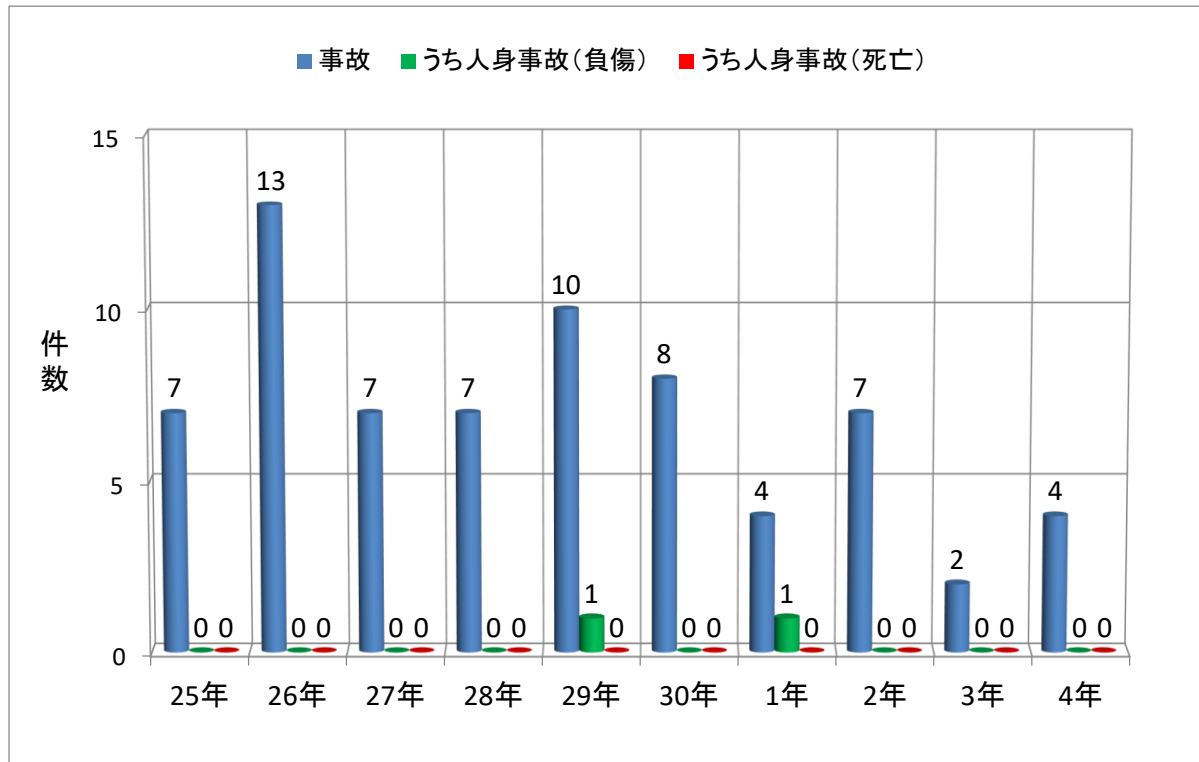
取扱不良と点検不履行による事故が多いことから、正しい使い方の啓発、リフトの日常点検及び点検資格者による定期点検と整備により事故防止対策を推進していく必要があります。

【参考】点検資格者による点検実施台数の推移



3. 門型洗車機の事故

3-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

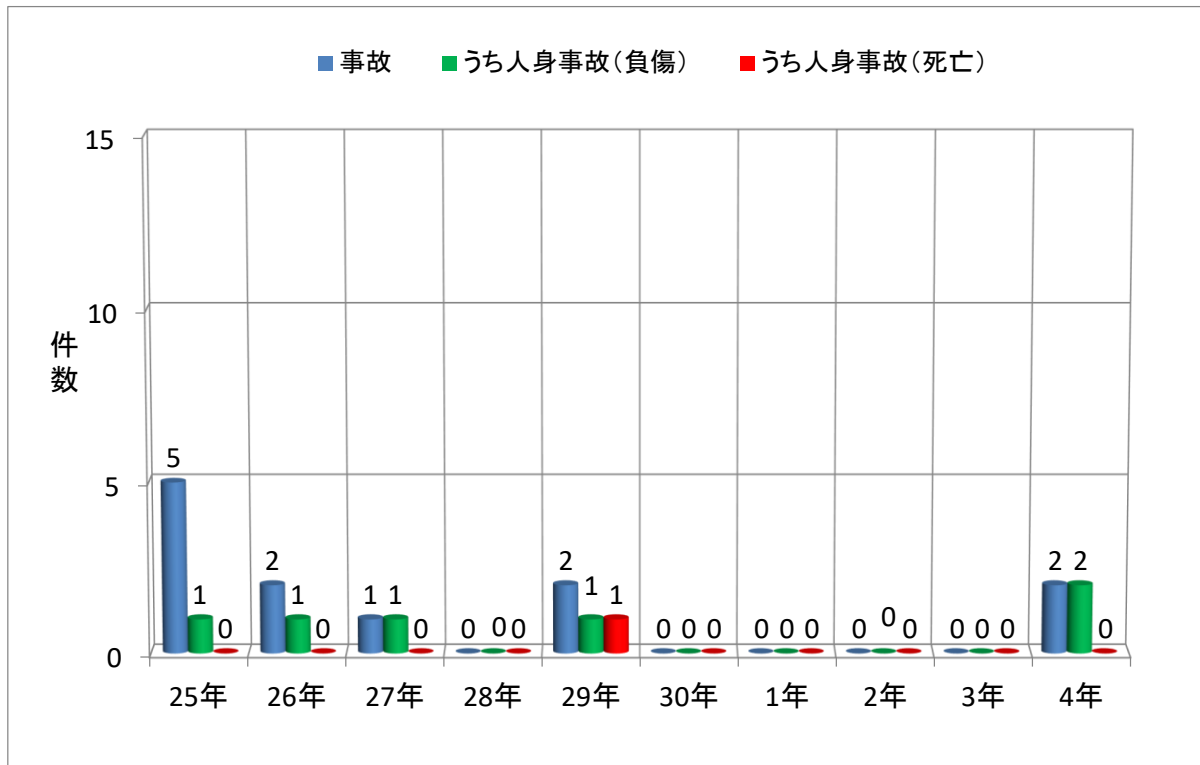


3-2. 門型洗車機の事故の傾向

門型洗車機を設置する整備工場が増えており、それに伴い事故件数も増加しています。事故原因としては、車種やオプション品等の選択ミス、点検不履行、及び車両ドアの自動開閉機能が誤って作動したことによる事故等が多く発生しています。

4. タイヤチェンジャー

4-1. 事故件数及び人身事故件数の推移

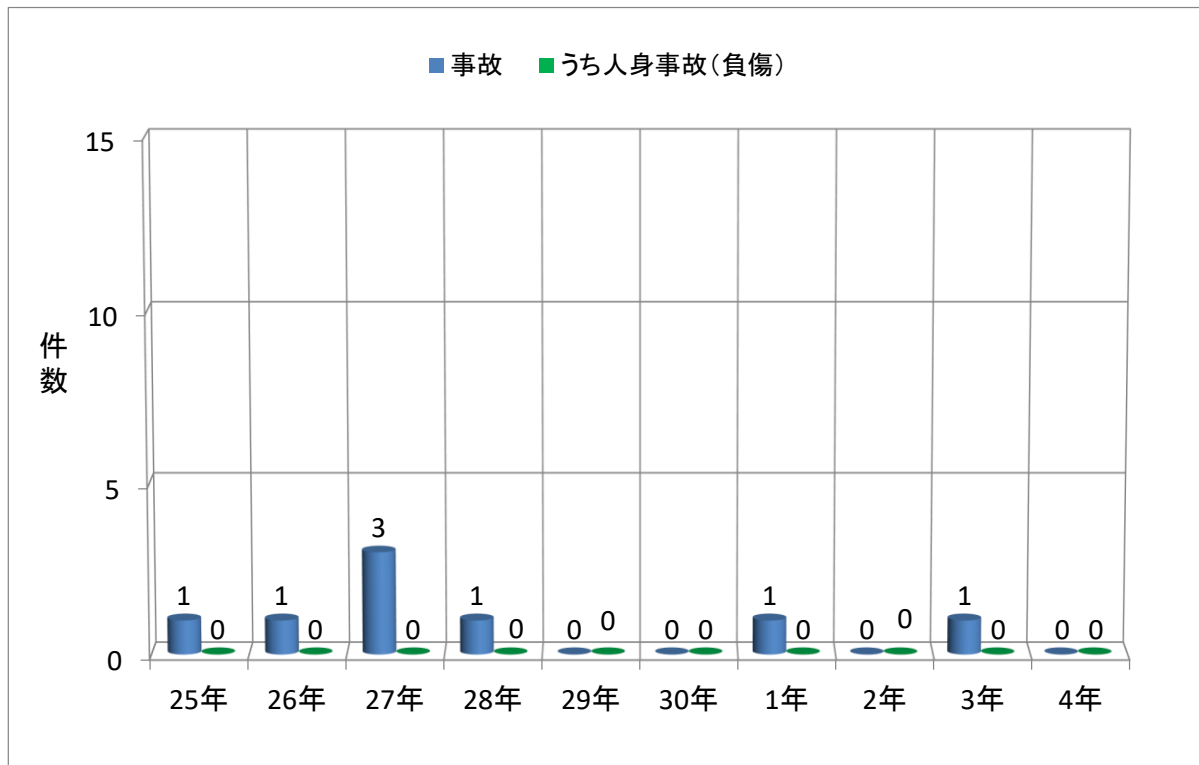


4-2. タイヤチェンジャーの事故の傾向

タイヤチェンジャーによる事故は、取り扱い方法の誤りによる事故が多く発生しています。また、29年に点検不履行による死亡事故が発生して以降、事故件数は0件で推移していましたが、4年に取扱不良による人身事故が2件発生しています。

5. 塗装ブース

5-1. 事故件数及び人身事故件数の推移



5-2. 塗装ブースの事故の傾向

塗装ブースによる事故は、堆積したミストやフィルターへの引火による火災が発生しています。

6. その他の機器（スキャンツール）

近年スキャンツールのバッテリー不良による火災が発生しています。

7. 事故を防止するために

各機器とも、正しい使い方の啓発と保守点検や定期点検により事故防止対策を推進していくことが必要です。